

銘柄紹介

ラクト・ジャパン [3139・100 株] 8月28日 東証2部市場上場

2015年8月12日(水)

更新: 10時4分

株式会社フィスコ

乳製品を中心とした専門商社

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	———
初値投資	———
初値メド	———

市場の注目度	★★
想定仮条件レンジ	1250円～1350円
予想PER	8.6倍(連)～9.3倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	1000円～2000円
予想PER	6.9倍(連)～13.8倍(連)

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	8月10日
ブックビルディング期間	8月12日～8月18日
公開価格決定	8月19日
申込期間	8月20日～8月25日
払込日	8月27日
上場日	8月28日

類似会社 3社

平均PER	18.5倍	→	2,686円
六甲バター<2266>	21.9倍	→	3,180円
米久<2290>	23.1倍(連)	→	3,354円
正栄食品工業<8079>	10.5倍(連)	→	1,524円

(PERは8月7日終値の会社側予想ベース)

乳原料・チーズ、食肉加工品等の輸入を主とする卸売および海外子会社によるチーズの製造・販売を行う食品事業を展開する。生乳から派生した多種多様な原料を取り扱っており、アイスクリームなどの冷菓や乳飲料、シチューなどの加工食品の原料として幅広い食品に使用されている。今後の市場拡大が期待されるアジア地域でも事業展開を行っている。

今期が減収減益予想であることや東証2部上場案件の低パフォーマンス傾向などが警戒されやすい。足元のIPO市場では改めて銘柄選別色が強まってきている点に注意する必要がある。

公開規模については20億円強となる見込みで、東証2部上場案件としてはやや大型となる。8/28は大型案件となるメタップス<6172>が同時上場するため、資金分散の影響を強く受けることになるだろう。



銘柄紹介

ラクト・ジャパン [3139・100株] 8月28日 東証2部市場上場



新規公開株レポート

2015年8月12日(水)
更新: 10時4分
株式会社フィスコ

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/11	56,088	—	1,493	—	845	—
2012/11	55,200	-1.6%	786	-47.3%	422	-50.0%
2013/11	63,344	14.8%	1,557	97.9%	902	113.7%
2014/11	80,210	26.6%	1,521	-2.3%	918	1.7%
2015/11 予	-	—	-	—	-	—

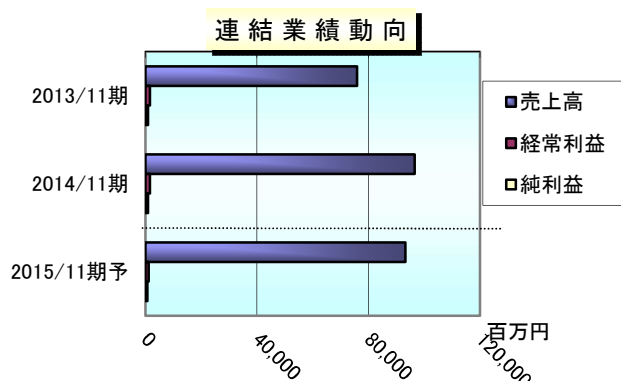
連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/11	75,942	—	1,669	—	1,007	—
2014/11	96,549	27.1%	1,653	-1.0%	988	-1.9%
2015/11 予	93,257	-3.4%	1,174	-29.0%	682	-31.0%
2015/5 2Q	48,209	—	627	—	378	—
予想 EPS/配当		単独: -円 連結: 145.19円(上場時発行済株式数で試算)/30.00円				

業績コメント

2015年11月期の業績は、売上高が前期比3.4%減の932.5億円、経常利益が同29.0%減の11.7億円と減収減益の見通しとなっている。

足元の乳原料・チーズにおいては、国内の生乳生産量が継続的に減少する中、総じて乳製品原料の輸入比率が高まっていることから、販売数量は増加する見込み。食肉加工品では、上期に米国(主要な仕入れ先)で発生したPED(豚流行性下痢)の影響で同社の主力製品である米国産豚肉の取扱いが減少したことに加えて、米西海岸で発生した港湾労働争議の影響から、船積遅延が発生したこと等により、売上高は減収となると予想されている。アジア事業・その他では、米国産の飲料メーカー向け乳原料の価格競争力が低下したことにより、販売数量が減少する見通しとなっている。

なお、通期計画に対する第2四半期末時点における進捗率は、売上高482.0億円で51.7%、経常利益6.2億円で53.4%となっている。





新規公開株レポート

銘柄紹介

ラクト・ジャパン [3139・100 株]
8月28日 東証2部市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時4分
株式会社フィスコ

基本概要	
所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 八住繁(昭和24年1月12日生)
設立	平成10年5月15日
資本金	4億6553万円(平成27年7月24日現在)
従業員数	新規上場会社85人 連結会社201人 (平成27年6月30日現在)
発行済株式数(上場時)	4,697,400株(予定)
公開株式数	公募780,000株 売出594,000株 (オーバーアロットメントによる売出206,100株)
想定公開規模	19.8億円~21.3億円(OA含む)
事業内容	乳原料・チーズ、食肉加工品等の輸入を主とする卸売および海外子会社によるチーズの製造・販売を行う食品事業

売上高構成比率 (2014/11期実績)			
品目	金額		比率
乳原料・チーズ	63,978	百万円	66.3 %
食肉加工品	15,672	百万円	16.2 %
アジア事業・その他	16,898	百万円	17.5 %
合計	96,549	百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定
幹事証券	丸三証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBCフレンド証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定

銘柄紹介

ラクト・ジャパン [3139・100株] 8月28日 東証2部市場上場

2015年8月12日(水)

更新: 10時4分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	八住 繁	335,800 株	8.35 %
2	武 勇	300,000 株	7.46 %
2	石井 純	300,000 株	7.46 %
4	佐久間 信男	288,000 株	7.16 %
4	飯塚 昌幸	288,000 株	7.16 %
4	師崎 良介	288,000 株	7.16 %
4	三浦 元久	288,000 株	7.16 %
4	鎌倉 喜一郎	288,000 株	7.16 %
9	株式会社明治	100,000 株	2.49 %
9	森永乳業株式会社	100,000 株	2.49 %
9	よつ葉乳業株式会社	100,000 株	2.49 %
9	和光堂株式会社	100,000 株	2.49 %
合計		2,775,800 株	69.03 %

その他情報

手取金の使途	関係会社における設備投資資金および運転資金のための投融資等に充当する予定。	
関係会社	LACTO USA INC. (連結子会社) 乳原料、チーズの仕入販売 LACTO OCEANIA PTY LTD. (連結子会社) 乳原料、チーズの仕入 LACTO ASIA PTE LTD. (連結子会社) 乳原料の仕入販売およびチーズの製造販売 LACTO ASIA (M) SDN BHD. (連結子会社) チーズの販売 FOODTECH PRODUCTS (THAILAND) CO.,LTD. (連結子会社) チーズの製造販売 叻克透商貿(上海)有限公司 (連結子会社) 加工食品、チーズ等の販売 PT. PACIFIC LACTO JAYA (持分法適用関連会社) チーズの製造販売	
VC売却可能分(推定)	2社 58,000株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2014年10月31日
	割当先	日本生命保険相互会社、エムエステイ保険サービス株式会社、みなとエクイティサポート投資事業有限責任組合
	発行価格	1,710円 ※株式分割を考慮済



銘柄紹介

ラクト・ジャパン [3139・100株] 8月28日 東証2部市場上場

2015年8月12日(水)
更新：10時4分
株式会社フィスコ

銘柄紹介

同社グループは、同社、海外子会社6社、および海外関連会社1社で構成され、乳原料・チーズ、食肉加工品等の輸入を中心とする卸売、および海外子会社によるチーズの製造・販売を行う食品事業を展開する。

農畜産加工品については、近年、国内の農畜産業の厳しい経営環境を受けた生産量の減少により、輸入による調達的重要性が高まる傾向にある。このような環境を踏まえて、同社グループでは創業以来培ってきた世界各国の産地との確固としたリレーションを背景に、食品メーカーを主とした顧客に対して、安心・安全な乳原料等を安定的に提供できるよう努めている。

(1) 乳原料・チーズ部門

生乳から派生した多種多様な原料を取り扱っている。飲用乳、加糖練乳、全粉乳、カゼイン、カゼインホエイ、脱脂粉乳、バター、バターオイル、ナチュラルチーズ、ホエイチーズ等に加えて、これらの取扱商品に砂糖や油脂類等を加えるなどの一次加工を施した原料(乳調製品)も取り扱う。乳調製品は、たとえばアイスクリームなどの冷菓、乳飲料、さらにはシチューなどの加工食品の原料として幅広い食品に使用されている。2014年11月期の取扱品目数は550種類に及んでいる。

(2) 食肉加工品部門

冷蔵豚肉、冷凍豚肉、生ハム、サラミ等の食肉加工品を取り扱う。多角化のため、2004年度から食肉加工品の仕入・販売を開始しており、主に海外から食肉加工品を仕入れ、日本国内におけるハムソーセージなどの食品メーカーに対して販売する。

(3) アジア事業部門

シンガポールにある子会社 LACTO ASIA PTE LTD. を中核として、マレーシア、タイ、インドネシア、中国に子会社および関連会社を設立し、事業展開を行っている。

取扱品目は、中国を除いて(1)の乳原料・チーズ部門と同様。同事業部門においては、乳原料・チーズ部門同様、海外から仕入れた原料を、各子会社のある国およびその周辺国において、日系および現地食品メーカー等に販売したり(乳原料販売事業)、シンガポール、タイ、インドネシアにおいて、製造事業として一次加工を施したチーズ製品の販売も手掛けている(チーズ製造販売事業)。さらに近年では中国において、卸売事業として日本食材を主とした加工食品等を上海地区周辺の小売店や飲食店向けに販売している。

ラクト・ジャパン [3139・100 株] 8月28日 東証2部市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時4分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

足元でチーズブームが見られ、物色テーマとして注目される可能性がある一方、今期が減収減益予想であることや公開規模がやや荷もたれ感を感じる大きさであること、東証2部上場案件の低パフォーマンス傾向などが警戒されやすい。直近の東証2部上場案件では、6/25上場の富士ダイス<6167>(公開規模26.9億円)が公開価格を50.9%上回る初値を付けているが、この時期はIPO銘柄全般に対し初値買い意欲の高まりが見られた。足元のIPO市場では改めて銘柄選別色が強まってきている点に注意する必要がある。

込みで、東証2部上場案件としてはやや大型となる。ベンチャーキャピタル保有株は少ないものの、少数株主が多い点は気になるところだ。さらに8/28は公開規模100億円クラスの大型案件となるメタックス<6172>が同時上場するため、資金分散の影響を強く受けることになるだろう。

同社は、乳原料・チーズ、食肉加工品等の輸入を中心とする卸売を手掛けるほか、海外子会社でチーズの製造・販売を行う食品事業も展開している。乳原料・チーズ部門では、生乳から派生した多種多様な原料を取り扱っており、アイスクリームなどの冷菓や乳飲料、シチューなどの加工食品の原料として幅広い食品に使用されている。また、海外ではマレーシア、タイ、インドネシア、中国といった今後の市場拡大が期待されるアジア地域に子会社及び関連会社を設立し、事業展開を行っている。

業績面について、2015年11月期は売上高が前期比3.4%減の932.5億円、経常利益が同29.0%減の11.7億円と減収減益の見通しとなっている。2期連続かつ2ケタ減益の業績予想がネガティブ視される可能性がある。想定仮条件水準の今期予想PERは8~9倍程度で、類似企業と比較して割安感がある。

公開規模については20億円強となる見

銘柄紹介

ラクト・ジャパン [3139・100株] 8月28日 東証2部市場上場

2015年8月12日(水)
更新：10時4分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレーマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会